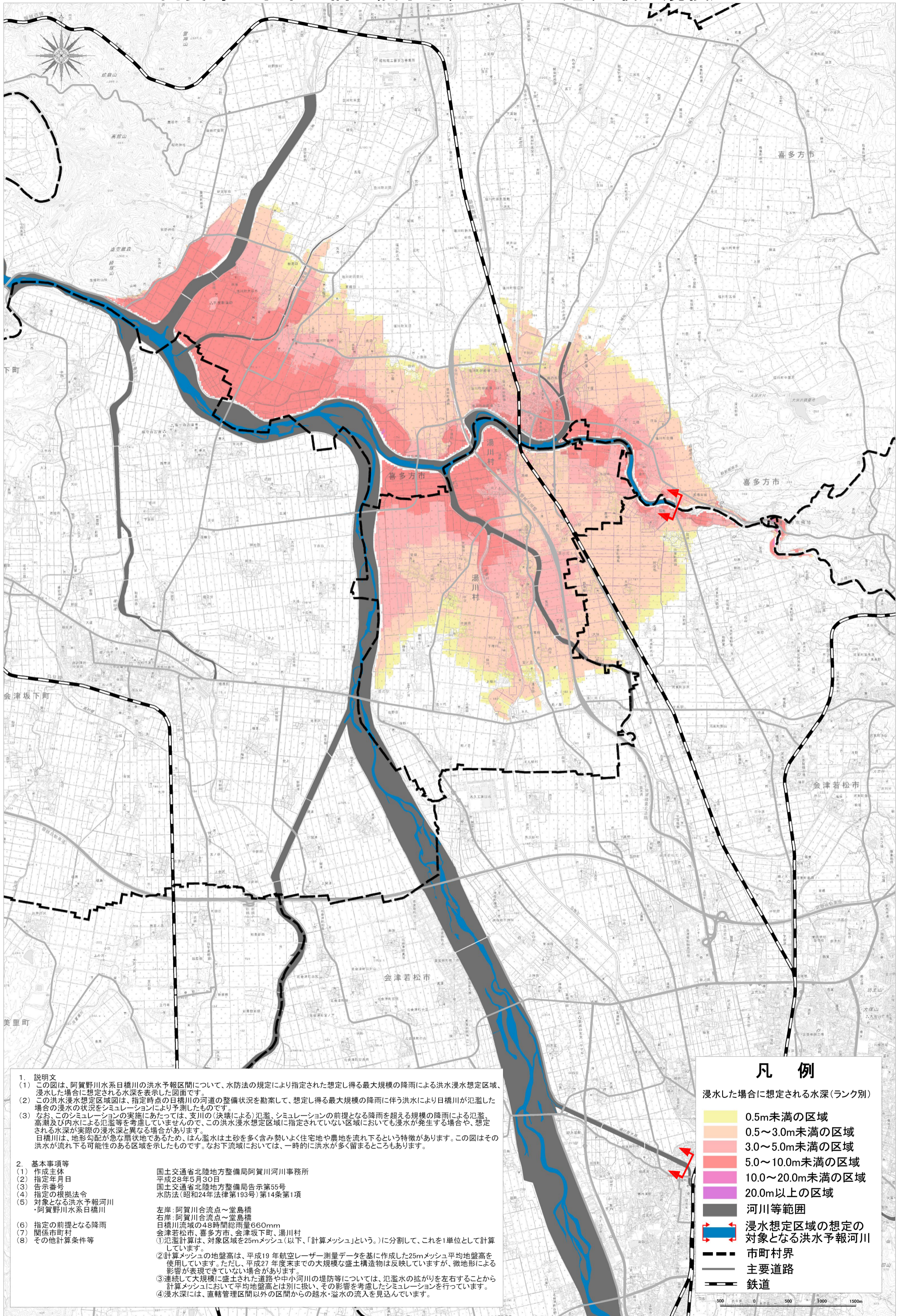


阿賀野川水系日橋川浸水想定区域図 (想定最大規模)



1. 説明文
(1) この図は、阿賀野川水系日橋川の洪水予報区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
(2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の日橋川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により日橋川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。浸水想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
日橋川は、地形勾配が急な扇状地であるため、はん濫水は土砂を多く含み勢よく住宅地や農地を流れ下るといった特徴があります。この図はその洪水が流れ下る可能性のある区域を示したものです。なお下流域においては、一時的に洪水が多く留まる場所もあります。

2. 基本事項等
(1) 作成主体 国土交通省北陸地方整備局阿賀川河川事務所
(2) 指定年月日 平成28年5月30日
(3) 告示番号 国土交通省北陸地方整備局告示第55号
(4) 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項
(5) 対象となる洪水予報河川・阿賀野川水系日橋川
左岸:阿賀川合流点~堂島橋
右岸:阿賀川合流点~堂島橋
日橋川流域の48時間総雨量660mm
会津若松市、喜多方市、会津坂下町、湯川村
①氾濫計算は、対象区域を25mメッシュ(以下、「計算メッシュ」という。)に分割して、これを1単位として計算しています。
②計算メッシュの地盤高は、平成19年航空レーザー測量データを基に作成した25mメッシュ平均地盤高を使用しています。ただし、平成27年度末までの大規模な盛土構造物は反映していませんが、微地形による影響が表現できていない場合があります。
③連続して大規模に盛土された道路や中小河川の堤防等については、氾濫水の拡がりを左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。
④浸水深には、直轄管理区間以外の区間からの越水・溢水の流入を見込んでいます。

凡例	
浸水した場合に想定される水深(ランク別)	
0.5m未満の区域	0.5~3.0m未満の区域
3.0~5.0m未満の区域	5.0~10.0m未満の区域
10.0~20.0m未満の区域	20.0m以上の区域
河川等範囲	浸水想定区域の想定の対象となる洪水予報河川
市町村界	主要道路
鉄道	